

がんセンター だより

Tochigi
Cancer Center
Dayori

地方独立行政法人
栃木県立がんセンター



6 月号
2020



表紙写真：泌尿器科の医師と外来看護師

- p1 | 新年度のご挨拶
副理事長兼事務局長就任のご挨拶
- p2・3・4 | 新任医師のご紹介
- p4 | 副病院長就任のご挨拶
- p5 | 新設センターのご紹介
- p6 | お知らせ

vol.
16

新年度のご挨拶

「選ばれる病院」 となるために

栃木県立がんセンター
副理事長兼病院長 尾澤 巖

当センターは、栃木県のがん対策推進3期計画に基づき、がん予防の推進、早期発見の推進、がん医療の充実等のがん対策を総合的かつ計画的に推進するほか、都道府県がん診療連携拠点病院として栃木県におけるがん医療の向上に努めております。

本年度は、小児を除くすべてのがんに対応した適切な診断・治療とケアを提供するため診療体制の充実を図りました。しばらく休診していた頭頸科、精神腫瘍科、腫瘍内科の診療を再開し、泌尿器科、形成外科では新しいスタッフによる体制で診療を始めております。また、骨軟部腫瘍・整形外科、肝胆膵外科、呼吸器外科では医師を増員し、診療体制の増強を図っております。

さらに、一人ひとりの「ゲノム」の違いに合わせて、病気の診断や治療を行うがんゲノム医療の推進や、症例数が少ないために標準的治療が確立していない疾患を扱う希少がんセンターの開設、ロボット支援手術センターの整備（9月に手術開始予定）など、最新の技術や知見を導入し、がん医療の向上にも努めております。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行が終息していない中、がん専門病院である当センターには、高齢の方や免疫力の低い患者さんが数多く受診されています。患者さんにおいては免疫抑制状態、抗癌剤の使用、放射線治療等を行っている関係で、感染すると重症化する可能性が高いと考えられます。従って、当センターでは、感染された患者さんを受け入れて診療することは難しいため、感染された患者さんの診療によりがん診療の機能が低下した他の病院のすべての治療フェーズのがん患者さんを積極的に受け入れ、がん医療を継続して提供することが私たちに課せられた責務であると考えております。一方では、栃木県が新型コロナウイルス感染症の軽症者等を対象として実施している民間ホテルを利用した宿泊療養に医師、看護師、臨床検査技師を派遣し、県立病院としての役割を果たしていく所存です。

栃木県立がんセンターは地方独立行政法人化し5年目となる本年、県民の皆様が安心して医療を受けられる「選ばれる病院」となるため、また、患者さんにとって最適な医療を提供するため（for the patient）、関係医療機関や関係団体の皆さまとの連携を密にし、協働して栃木県全体のがん診療の質向上のために取り組んで参ります。今後とも皆様の御支援御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

副理事長兼事務局長就任のご挨拶

新たな飛躍に向けて

栃木県立がんセンター
副理事長兼事務局長 五月女 智史

2020年4月1日付をもちまして菱沼理事長より地方独立行政法人栃木県立がんセンターの副理事長兼事務局長を拝命いたしました五月女智史でございます。

3月に県から当センターへの赴任の内示をいただいた時には、5年前、県の担当者として当センターの独立行政法人化に向け、職員の皆さんと侃々諤々の議論をしたことを懐かしく思い出すとともに、これからは、当センターの職員として頑張っていこうという気持ちが湧き出てきました。

今年度は、当センターが地方独立行政法人化して5年目を迎え、新たな飛躍に向けての第2期中期計画を作成する重要な年度となっております。

疾病構造の変化や恒常的な人材不足、さらには新型コロナウイルス感染症への対応など病院経営を取り巻く環境は、益々厳しくなっておりますが、独立行政法人ならではの経営の機動性や人事の柔軟性を最大限発揮し、当センターが「県民の皆様から一番頼りにされるがんの専門病院」となれるよう、事務部門をまとめる副理事長兼事務局長として、微力ではございますが菱沼理事長や尾澤病院長をしっかりと支え、そして職員の皆さんと力を合わせて尽力していきたいと考えております。

皆様どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師のご紹介



氏名 仲地 耕平 (なかち こうへい)

役職 腫瘍内科長

北海道から参りました。栃木県の皆様のがん医療に貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

出身大学 札幌医科大学卒

腫瘍内科



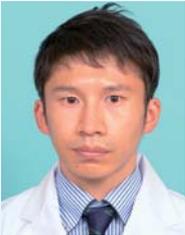
氏名 貫井 昭徳 (ぬくい あきのり)

役職 泌尿器科長 兼 ロボット支援手術センター長

医師免許取得後24年になりますが、ずっと栃木県内で泌尿器科医として働いてまいりました。第二のふるさとしてある栃木県内の泌尿器がん診療に尽力していきたいと思えます。

出身大学 大分医科大学卒

泌尿器科



氏名 武井 航平 (たけい こうへい)

4月より入職いたしました泌尿器科の武井航平と申します。

患者さんにとって、より良い治療を提供するため、日々の診療に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

出身大学 獨協医科大学卒



氏名 藤平 明広 (ふじひら あきひろ)

役職 精神腫瘍科長 兼 緩和ケアセンター長

この度、獨協医科大学病院精神神経科から派遣で参りました。環境制限が色々あるので、出来ることを出来る範囲で対応させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

出身大学 獨協医科大学卒

精神腫瘍科



氏名 田口 昌延 (たぐち まさのぶ)

役職 消化器外科(肝胆膵) 副科長

栃木県小山市出身です。自治医科大学で診療経験を積んできました。地域の皆様に寄り添った医療を提供していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

出身大学 旭川医科大学卒 自治医科大学大学院卒

消化器外科 (肝胆膵)



氏名 高橋 詳史 (たかはし よしふみ)

役職 婦人科 医長

地域の皆様のがん診療に貢献していけるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

出身大学 山梨医科大学卒

婦人科



氏名 川口 慎一郎 (かわぐち しんいちろう)

2020年4月付けにて、栃木県立がんセンターに入職しました川口慎一郎と申します。どうぞよろしくお願いたします。

出身大学 近畿大学卒

血液内科



氏名 蓮実 健太 (はすみ けんた)

2020年4月付けにて、栃木県立がんセンターに入職しました蓮実健太と申します。どうぞよろしくお願いたします。

出身大学 杏林大学卒

呼吸器外科



氏名 中川 瑠美 (なかがわ るみ)

2020年4月付けにて、栃木県立がんセンターに入職しました中川瑠美と申します。どうぞよろしくお願いたします。

出身大学 杏林大学卒

骨軟部腫瘍・整形外科



氏名 飯田 千絵 (いいた ちえ)

形成外科は、他の科の治療で失われたものを取り戻す科になります。正解はありません。どうしていくか一緒に考えていけたら良いなと思います。何卒よろしくお願いたします。

出身大学 慶應義塾大学卒

形成外科



氏名 伊東 紘子 (いとう ひろこ)

基本的にテレワークでの勤務ですが、画像診断を通じて地域のがん診療に貢献出来るよう精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

出身大学 東京女子医科大学卒

放射線診断科



氏名 阿部 信 (あべ まこと)

可能な限り迅速に対応しますので、病理診断報告書に何か疑問があったら連絡してください。足りないところ、至らないところ等あると思いますが、ご指導よろしくお願いたします。

出身大学 福井大学卒

病理診断科



氏名 加藤 大星 (かとう たいせい)

4月から再開した頭頸科の診療を栃木県に生かせるよう、院内、院外共に積極的に活動したいと思っています。まだまだ未熟者ですが、皆様のお力になれるよう頑張ります。

出身大学 日本医科大学卒

頭頸科

副病院長就任のご挨拶



栃木県立がんセンター
副病院長 **安藤 二郎**
統括診療部長 兼任 乳腺外科長 兼任

2020年4月より副病院長を拝命いたしました安藤です。1991年に栃木県立がんセンターへ入社して以来、乳腺外科医として乳癌診療にあたってまいりました。その間、地域の先生方には患者のご紹介のみならず、検診の推進、医療連携等でお世話になり、この場を借りて感謝申し上げます。今後も乳腺外科科長として乳癌診療にも注力していきますが、副病院長職として、栃木県のがん診療連携拠点病院の使命を果たすべく努力していきたいと考えております。

当センターでは本年2月からは頭頸科が、そして4月からは泌尿器科、腫瘍内科、精神腫瘍科が新体制で診療を開始しております。また希少がんセンターやロボット支援手術センターの整備など、更なるがん医療の水準向上へ前進している状況です。開院以来の当センターの基本理念「学問に裏付けられた最高の技術を愛のこころで県民の皆様を提供します」を忘れずに、県民から愛される、そして選ばれる病院となるべく、尽力していく所存です。今後とも皆様の御支援、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

新設センター
の
ご紹介

ロボット支援手術センター

センター長 貫井 昭徳



栃木県立がんセンターでは、2020年度に手術支援ロボット「ダビンチ (da Vinci)」の導入を目指し、「ロボット支援手術センター」を設立しました。

この手術支援ロボットによる手術は、傷が小さく、術後の痛みも少ないため、入院期間の短縮が可能となる「患者さんに優しい」手術です。既に欧米においては日常診療の一部になっており、日本でも2012年から保険診療が始まりました。がん手術の分野においても、この手術支援ロボットを用いた手術方式は広がりつつあり、一部の術式では標準手術になっています。

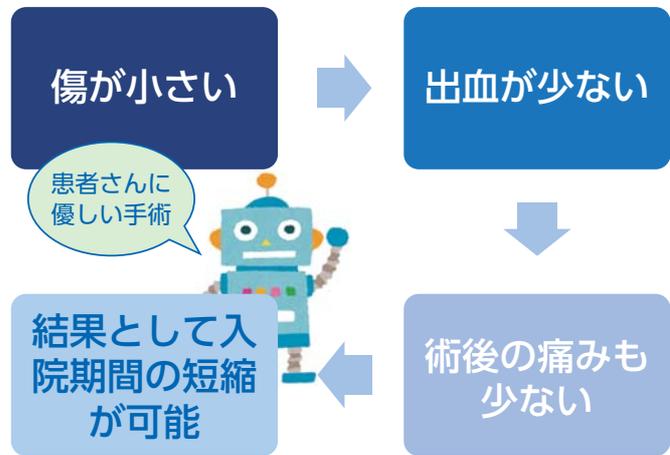
がん専門病院として県民が求める高度で専門的ながん医療を提供するためには、この手術支援ロボットの導入は不可欠と判断し、当センターで導入を目指すこととなりました。

ロボット支援手術センターでは、安全なロボット手術の運用に向け、術者、看護師、麻酔医、臨床工学技士など多くの職種が連携し、手術支援ロボット「ダビンチ (da Vinci)」の導入に向けてチーム一丸となって取り組んで参ります。

ダビンチとは

手術支援ロボット「ダビンチ」は胸部や腹部に1センチ程度の穴を数か所開けて、体の中にカメラ器具を入れ、その映像を見ながら行う内視鏡手術の一種です。術者は内視鏡による三次元の拡大視野映像を見ながら、ロボットに付属するアームを操作し、病巣の切除や臓器間の縫合を行います。機器は操作が容易で、拡大視野のもとで操作性に優れた器具を手振れの無い状態で使用できるため、人間の手で行うより、より安全で、確実な手術が可能となります。

利点として、①切開創が小さいため、傷が目立たず、術後の痛みが軽減される。②体腔内にガスで圧をかけるため、出血量が少ない。③拡大視野のもと、精密な操作が出来るため、がんの確実な切除と正確な縫合が可能である。④機器の緻密な動きによって体の機能を温存させる手術が期待できるなどがあります。

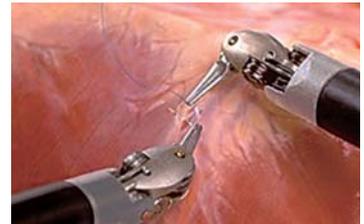


写真(1)



ダビンチは3つの機器からなっており、術者は同室内で患者さんから少し離れた所で患者さんには直接触れずに手術を行います。

写真(2)



機器の緻密な動きが可能

新型コロナウイルス感染症にともなう当センターの対応について

栃木県立がんセンターでは新型コロナウイルス感染症対策として以下の取り組みを実施しています。
患者さん、ご家族、医療機関等関係各所の皆様の御理解と御協力をお願いします。

感染症拡大防止に
ご協力ください



●受診者の皆様へ

★次の方の来院をお断りしております。

- 発熱、咳、息苦しさ、だるさ、味覚・嗅覚異常のある方
- 新型コロナウイルスが集団発生するリスクのあるところに入出入りしている方
- 新型コロナウイルスの感染が否定できない方との接触がある方

★当センターの受診を希望される患者さんは紹介状が必要となります。まず、かかりつけ医の紹介状をご持参ください。

★新型コロナウイルス感染症が流行している地域に行かれた方は、入院や治療（化学療法・手術・放射線療法）を中止もしくは延期する場合があります。

●患者ご家族の皆様へ

★入院患者への面会を禁止しています。（ただし、病院からの依頼がある場合、病院からの依頼があつて付き添いをする場合、荷物の受け渡し、手術当日の付き添い、検査当日の付き添い等は除きます。）

★来院される方（同行者）は、患者1名につき、1名とさせていただきます。（外来、入退院時、病院からの依頼があつて来院する場合、病院からの依頼があつて付き添いをする場合、荷物の受け渡し、手術当日の付き添い、検査当日の付き添いの方）

★病状説明は1名で聞いていただき、ご家族へ情報伝達をお願いしております。（ただし、医師が必要と判断した場合を除きます。）

★入院患者さんの対応のために来院した方には、来院時に各病棟で体温測定を行っていただきます。

●連携病院の皆様へ

★6月1日よりセカンドオピニオン外来と土曜日のがん予防・遺伝カウンセリング外来を除き、通常どおり診療しております。

新型コロナウイルスに関する最新情報は、当センターのホームページにて随時発信しておりますので、そちらをご確認ください。



栃木県立がんセンター HP
<http://tochigi-cc.jp/>

2019年度 患者満足度調査を実施しました



当センターでは毎年度、当センターをご利用の外来および入院の患者さん、ご家族の方々へ満足度調査を実施しております。昨年度の結果は下記通りでした。

調査項目：「当センターを総合的に判断した満足度」

外来……“とても満足している”“やや満足している” **80%**

入院……“とても満足している”“やや満足している” **96%**

引き続き、利用者の皆様の満足度向上に努めて参ります。

※調査方法は、外来500名、入院300名の患者さんに対してアンケートを実施。“とても満足している”“やや満足している”の合計を満足度としています。回答率は外来で98.8% 入院で75.3%でした。

当センターは 日本医療機能評価機構認定病院です



※認定病院とは

日本医療機能評価機構の行う病院機能評価により、一定の水準を満たした病院は「認定病院」として認定を受けます。



当センターの病院機能評価結果は情報提供サイトでご確認いただけます。

<http://www.report.jcqhc.or.jp/>

医療機関の皆様へ予約窓口のご案内

ご紹介いただきありがとうございます。当センターでは、患者さんの症状やご希望に応じた外来診療予約に心がけております。ご予約の際は、下記までご連絡ください。

予約センター ☎ **028-658-5012**

受付時間 平日 ⌚ 8:30 から 16:30

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターにお電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- 保険証、各種医療証
- 診療情報提供書（紹介状）

- 各種検査結果、画像データ（お持ちの方のみ）
- お薬手帳（お持ちの方のみ）
- 当センターの診察券（お持ちの方のみ）

●病診連携に関するお問い合わせ

地域連携センター

☎ **028-611-5503**

平日 ⌚ 8:30 から 17:15

●がんに関するご相談

がん相談支援センター

☎ **028-658-6484**

平日 ⌚ 8:30 から 17:00

●がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

☎ **028-611-5480**

平日 ⌚ 8:30 から 17:00

セカンドオピニオン外来のご案内

■ 平日午後

	月	火	水	木	金
消化器	清水秀昭 (主に食道)				
婦人科	関口 薫				



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
当面の間受付を中止しております。



	2月1日(第1土曜日)	2月8日(第2土曜日)	2月15日(第3土曜日)	2月22日(第4土曜日)
	藤田 剛			松下 尚之
	白川 博文			尾澤 巖
	藤田 伸			藤田 伸

●ご予約は、下記予約センターにて承ります。

予約センター ☎ **028-658-5012** (直通)

受付時間 平日 ⌚ 8:30 から 16:30

■ 土曜日午前

	2月1日(第1土曜日)	2月8日(第2土曜日)	2月15日(第3土曜日)	2月22日(第4土曜日)
呼吸器	中村 洋一	中原 理恵	笠井 尚	松隈 治久
乳 腺	安藤 二郎	北村 東介	安藤 二郎	北村 東介

※予告なく変更となる場合があります



交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
⇒西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗り、「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
⇒東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗り、「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を越え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入っすぐ江曾島方面へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)

がんセンター
だより

vol. 16

6月号

令和2年(2020)
6月15日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター
広報広聴センター
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
TEL. 028-658-5151(代) FAX. 028-658-5669

がんセンターの情報は

栃木県 がん 検索
URL <http://www.tochigi-cc.jp>

